



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月10日

上場会社名 川本産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3604 URL <https://www.kawamoto-sangyo.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)水上 博司
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画室室長 (氏名)吉田 康晃 (TEL)06(6943)8951
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	18,313	1.2	64	—	118	—	68	—
2019年3月期第3四半期	18,091	3.0	△29	—	8	△91.3	△28	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △31百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △114百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	11.90	—
2019年3月期第3四半期	△4.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	14,649	3,575	24.4
2019年3月期	13,087	3,734	28.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,575百万円 2019年3月期 3,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	10.2	300	845.3	350	334.5	240	240.3	41.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期3Q	6,000,000株	2019年3月期	6,000,000株
2020年3月期3Q	204,366株	2019年3月期	204,366株
2020年3月期3Q	5,795,634株	2019年3月期3Q	5,795,669株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴う設備投資の増加や雇用・所得環境の改善を背景とした緩やかな個人消費の回復、海外経済の成長を背景とした輸出の増加等の要因により、緩やかな回復基調が続きました。一方で、消費増税の影響による個人消費低迷への不安や、中東情勢不安による原油高などの影響を受けた原材料価格の高騰、米国を中心とした貿易摩擦の激化・長期化や通商問題に対する警戒感等、先行きへの不透明感も高まっています。

当社グループ（当社及び連結子会社）が属する医療用品・介護用品の業界におきましては、社会保障費の増大に対する改革の必要性を背景にコスト削減圧力が高まっており、価格競争が激化しております。また、医療の機能分化や地域包括ケアの推進など医療・介護のあり方も変革の最中にあり、事業環境変化への対応が求められています。育児用品の業界におきましては、2018年の国内出生数が過去最低を更新するなどマーケット縮小に直面しており、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況下で、当社グループは原価低減やコスト管理強化により筋肉質な収益体質の構築に取り組むとともに、単なる値下げ競争による売上拡大とは一線を画した付加価値・独自性に軸を置いた事業活動への転換を図っております。この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は18,313,119千円（前年同四半期比1.2%増加）、営業利益は64,057千円（前年同四半期は29,962千円の営業損失）、経常利益は118,185千円（前年同四半期比1,229.3%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は68,982千円（前年同四半期は28,589千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

（医療用品等製造事業）

従来より取り組んでいる感染予防関連製品、口腔ケア製品、手術関連製品その他高付加価値品の販売拡充に加え、大阪工場への設備投資による生産効率化、医療機器の製造受託及び安全衛生保護具等の販売拡大に努めた結果、売上高は6,171,111千円（前年同四半期比2.3%増加）、経常利益は68,757千円（前年同四半期は129,332千円の経常損失）となりました。

（医療・育児用品等卸売事業）

医療用品・介護用品・ベビー用品等を、医療機関・大手量販店・ドラッグストアや通信販売事業者など幅広い顧客に対し積極的に販売いたしました。重点顧客への販売が好調に推移した結果、売上高は12,142,008千円（前年同四半期比0.7%増加）となりました。しかしながら、運賃などの物流関連費用の増加等により経常利益は378,757千円（同12.6%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は14,649,735千円、自己資本は3,575,464千円で、自己資本比率は24.4%（前連結会計年度末は28.0%）となりました。

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は14,649,735千円となり、前連結会計年度末に対して1,562,564千円増加いたしました。

流動資産は11,515,075千円で、前連結会計年度末に対して1,384,819千円増加いたしました。「受取手形及び売掛金」に「電子記録債権」を加えた売上債権が1,205,096千円増加したことが主な要因です。

固定資産は3,134,660千円で、前連結会計年度末に対して177,744千円増加いたしました。「その他」のうち、長期貸付金が290,000千円増加する一方で、投資有価証券が59,345千円の減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は11,074,271千円となり、前連結会計年度末に対して1,721,521千円増加いたしました。

流動負債は7,611,703千円で、前連結会計年度末に対して1,757,470千円増加いたしました。「支払手形及び買掛金」が376,483千円増加、「短期借入金」が700,000千円増加、「関係会社短期借入金」が900,000千円増加したことが主な要因です。

固定負債は3,462,567千円で、前連結会計年度末に対して35,948千円減少いたしました。「長期借入金」が62,600千円減少したことが主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は3,575,464千円となり、前連結会計年度末に対して158,957千円減少いたしました。子会社株式の追加取得により「資本剰余金」が44,189千円減少、「非支配株主持分」が67,606千円減少したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月9日公表の業績予想に変更はありません。今後、通期の業績見込について見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	778,649	750,574
受取手形及び売掛金	3,940,536	4,453,189
電子記録債権	2,869,750	3,562,193
商品及び製品	1,450,675	1,636,111
仕掛品	294,937	290,698
原材料及び貯蔵品	120,382	116,730
その他	686,369	718,471
貸倒引当金	△11,044	△12,893
流動資産合計	10,130,256	11,515,075
固定資産		
有形固定資産	1,330,603	1,296,940
無形固定資産		
のれん	237,300	211,595
その他	251,539	241,382
無形固定資産合計	488,840	452,978
投資その他の資産		
その他	1,198,460	1,411,932
貸倒引当金	△60,989	△27,190
投資その他の資産合計	1,137,471	1,384,741
固定資産合計	2,956,915	3,134,660
資産合計	13,087,171	14,649,735

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,223,356	3,599,840
短期借入金	500,000	1,200,000
関係会社短期借入金	600,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	684,800	586,400
未払法人税等	40,696	—
賞与引当金	112,798	47,536
売上割戻引当金	179,159	191,879
災害損失引当金	51,516	2,641
その他	461,906	483,405
流動負債合計	5,854,233	7,611,703
固定負債		
長期借入金	2,757,430	2,694,830
退職給付に係る負債	619,905	631,432
資産除去債務	28,705	28,036
その他	92,475	108,268
固定負債合計	3,498,516	3,462,567
負債合計	9,352,749	11,074,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,000	883,000
資本剰余金	1,192,597	1,148,407
利益剰余金	1,351,529	1,397,329
自己株式	△74,302	△74,302
株主資本合計	3,352,824	3,354,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	360,754	316,772
為替換算調整勘定	△38,225	△97,866
退職給付に係る調整累計額	△8,538	2,123
その他の包括利益累計額合計	313,990	221,029
非支配株主持分	67,606	—
純資産合計	3,734,421	3,575,464
負債純資産合計	13,087,171	14,649,735

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	18,091,664	18,313,119
売上原価	15,243,659	15,323,787
売上総利益	2,848,004	2,989,331
販売費及び一般管理費	2,877,967	2,925,274
営業利益又は営業損失(△)	△29,962	64,057
営業外収益		
受取利息	537	635
受取配当金	16,072	17,104
仕入割引	57,749	54,032
その他	6,365	12,091
営業外収益合計	80,725	83,864
営業外費用		
支払利息	17,917	13,285
為替差損	4,139	6,623
売上割引	8,749	8,349
その他	11,064	1,477
営業外費用合計	41,871	29,735
経常利益	8,890	118,185
特別利益		
固定資産売却益	28,299	—
特別利益合計	28,299	—
特別損失		
固定資産除売却損	31,299	2,883
投資有価証券評価損	855	—
特別損失合計	32,155	2,883
税金等調整前四半期純利益	5,034	115,302
法人税、住民税及び事業税	9,040	9,126
法人税等調整額	33,838	39,319
法人税等合計	42,879	48,446
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,844	66,856
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,255	△2,126
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,589	68,982

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,844	66,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,336	△43,982
為替換算調整勘定	△51,628	△64,656
退職給付に係る調整額	13,881	10,662
その他の包括利益合計	△77,083	△97,976
四半期包括利益	△114,927	△31,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△101,735	△23,978
非支配株主に係る四半期包括利益	△13,191	△7,141

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	医療用品等 製造事業	医療・育児用品等 卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,032,243	12,059,421	18,091,664	—	18,091,664
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,032,243	12,059,421	18,091,664	—	18,091,664
セグメント利益又は損失(△)	△129,332	433,232	303,900	△295,010	8,890

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△295,010千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益の額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	医療用品等 製造事業	医療・育児用品等 卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,171,111	12,142,008	18,313,119	-	18,313,119
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,171,111	12,142,008	18,313,119	-	18,313,119
セグメント利益	68,757	378,757	447,514	△329,329	118,185

(注) 1. セグメント利益の調整額△329,329千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益の額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。